

日本健康麻将協会のご案内

＜2010年度版＞



日本健康麻将協会
JAPAN KENKO-MAHJONG ASSOCIATION

本部 事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-4 4F

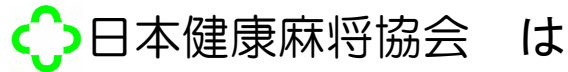
TEL 03-3294-4771 FAX 03-3294-4772

五反田ふれあい研修サロン

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-4-2 2F

TEL 03-5496-5840 FAX 03-5496-5841

1.	日本健康麻将協会と麻将	...	3
2.	健康麻将とその歴史	...	5
3.	組織概要	...	7
4.	主な事業	...	8
5.	健康麻将を開催する前に(開催・運営希望の方へ)	...	12
6.	2010年度日本健康麻将協会事業計画	...	13
7.	2009年度日本健康麻将協会事業報告	...	14
8.	健康麻将、健康麻将教室開催会場並びに主催者に関する規定	...	16



健康麻将の普及を通じて社会貢献する中で
マーじゃんそのもののイメージアップを
進めていくことを目的とした非営利団体です

活動理念

マーじゃんは人と人とのコミュニケーションを図るゲームです。

日本健康麻将協会は、21 世紀の知的ゲームとして『健康マーじゃん』の素晴らしさを鼓吹し、その普及活動を通じて社会に貢献します。

そして、『健康マーじゃん』を世界の国々で愛され親しまれる健康的な頭脳スポーツとして認知させ、次世代に継承します。

日本健康麻将協会の「麻将」って何？



当協会が 1995 年から始めた日中友好麻雀交流の甲斐あって、1998 年に中国国家体育総局が頭脳スポーツ(囲碁や将棋など頭を使うゲーム、競技)としての「**麻将**(麻雀の北京での表記)」の統一規則(ルール)を制定しました。※1

このことは、マーじゃんが生まれ故郷の中国においてギャンブルとしてではなく、健康的な頭脳スポーツとして認められたことを意味します。

これを受けて私たちは1998年から日本でも**賭けない麻雀の総称を「麻将」**と表記することとし、この言葉に新しい意味を持たせ「賭けないマーじゃん」をアピールしていくこととしました。

※1 このルールは「国際公式ルール」と呼ばれ日本のマーじゃんのルールとは違います。

このルールで行われるマーじゃんは「中国麻将」と呼ばれます。

日本健康麻将協会『活動理念』『憲章』『綱領』

【1】 日本健康麻将協会『活動理念』

マージャンは人と人とのコミュニケーションを図るゲームです。

日本健康麻将協会は、21世紀の知的ゲームとして『健康マージャン』の素晴らしさを鼓吹し、その普及活動を通じて社会に貢献します。

そして、『健康マージャン』を世界の国々で愛され親しまれる健康的な頭脳スポーツとして認知させ、次世代に継承します。

【2】 日本健康麻将協会『憲章』

健康マージャンは高齢社会となったわが国にとって必要不可欠な存在となり、知的で健康的なコミュニケーション・ツールとして再認識されている。

私たちが提供する健康マージャンの開催会場には多くの高齢者が訪れ、《健康》を維持し、《生きる》喜びを感じ、《ふれあい》の輪を広げる。

そうした方々から大きな支持を得られていることを、私たちは『誇り』に思う。

そして《健康マージャンに触れることが私のいきがい》といってくれる人の喜びを自らの喜びとし明日の糧とする。

日本健康麻将協会は、こうした私たちによって構成された団体です。

【3】 日本健康麻将協会『綱領』

●活動理念

【1】に掲げる

●構成

【2】に掲げる

●活動

- ①『健康麻将ふれあいサロン』及び『健康麻将教室』のモデル事業を開催する。
- ②『健康麻将ふれあいサロン』及び『健康麻将教室』の主催者を支援する。
- ③『健康麻将デモンストレーション』としての各種イベントを主催・後援する。
- ④『健康麻将全国オープン戦・教室』では成績集計・管理・発表・表彰をする。
- ⑤『麻将競技』に対し、顕彰制度の一環として段位状を発行する。
- ⑥『健康麻将』を通じ麻将の発祥国・中国を中心に世界各国との友好交流をする。
- ⑦『健康麻将』を通じ自治体の高齢者福祉事業に協力する。
- ⑧『健康麻将』を通じ少年の非行防止に寄与する。
- ⑨『健康麻将ボランティア』及び『健康麻将教室レススンプロ』の育成と認定をする。
- ⑩介護予防、認知症予防等に貢献する健康マージャンの役割を科学的に実証するための研究・調査をする。
- ⑪その他、上記、各号に付帯関連する一切の事業活動をする。

健康麻将とその歴史

健康マージャンは今から約30年前、田嶋智裕(当協会理事長)の経営する雀荘で生まれました。まだまだ現在よりもマージャンのイメージは悪かった頃の話です。

当時にも純粹にゲームとして、安心して、マージャンを楽しみたい方がいらっしゃいました。そのようなお客様を対象として、またゲーム中は「(お酒を)飲まない・(お金を)賭けない・(煙草を)吸わない」という健全なマージャンとしてスタートしました。

開催している現場では盛り上がっていましたが、この時点では、まだまだ現在のような社会的認知を得るところではありませんでした。

当協会は、1988年に第1回井出洋介杯親子ふれあい麻将大会を開催することをきっかけに設立(当初は日本健康麻雀協会)されました。当協会の活動を支える健康麻将全国オープン戦などのシステムを整えながら、マージャンのイメージアップと昼間の有効活用を検討している麻雀荘経営者の方々を中心に、卓メーカーや販売会社、競技選手などの協力を得て、徐々に開催会場の数を増やし、テレビや新聞、雑誌などのマスコミにも取り上げられるようになっていきました。



井出洋介杯親子ふれあい麻将大会 ※1

※1 現在では家族ふれあい麻将大会

さらに社会的な認知を得るきっかけのとなったのが自治体との協働事業です。もともと高齢者の方々に人気のあった健康麻将を自治体の高齢者福祉事業として取り上げられないかという事業計画が立ち上がったのが2000年。

翌2001年に杉並区後援事業、2002年に品川区との共催事業、2003年には千葉市事業が当協会に事業委託する形でスタートしました。



品川区いきいき健康マージャン広場の集い

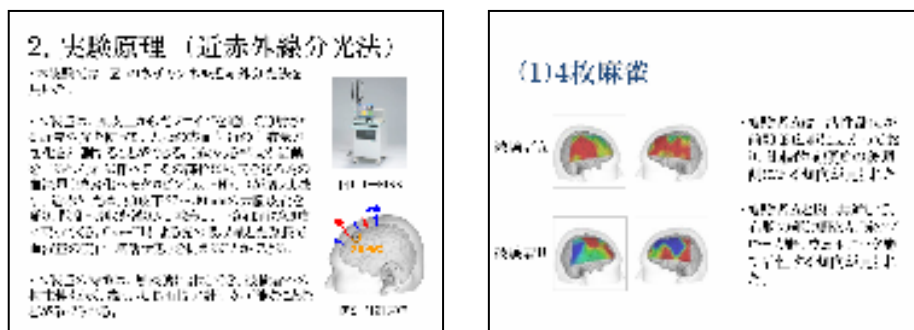
自治体協働事業の推進活動、ねんりんピック茨城2007における健康マージャンの正式種目化など、健康麻将が高齢者の福祉事業としてさらに注目を集めてくる中で、2007年度より「健康麻将が脳活動に与える影響調査」プロジェクトが始まりました。

(財)長寿社会開発センターの補助金を受け、諏訪東京理科大学 篠原菊紀教授の協力のもとに進められたこの調査が当初目指したものは「マージャンが認知症予防に良い」という通説に対しての医学的アプローチ。

結果として

- ・ マージャンを楽しんでいる方の脳年齢が平均より約三歳若い
- ・ マージャンは脳を様々な部位を活動させ、いわゆる脳トレ効果がある

という結論を導き出し、調査の最終段階では高齢者の方々に健康麻将に、より長く通ってもらえるようにと、歩行機能を中心とした筋トレメニューを開発、健康麻将はく健全なマージャンから、文字通りく健康くをプロデュースするマージャンへと現在も進化を続けているのです。

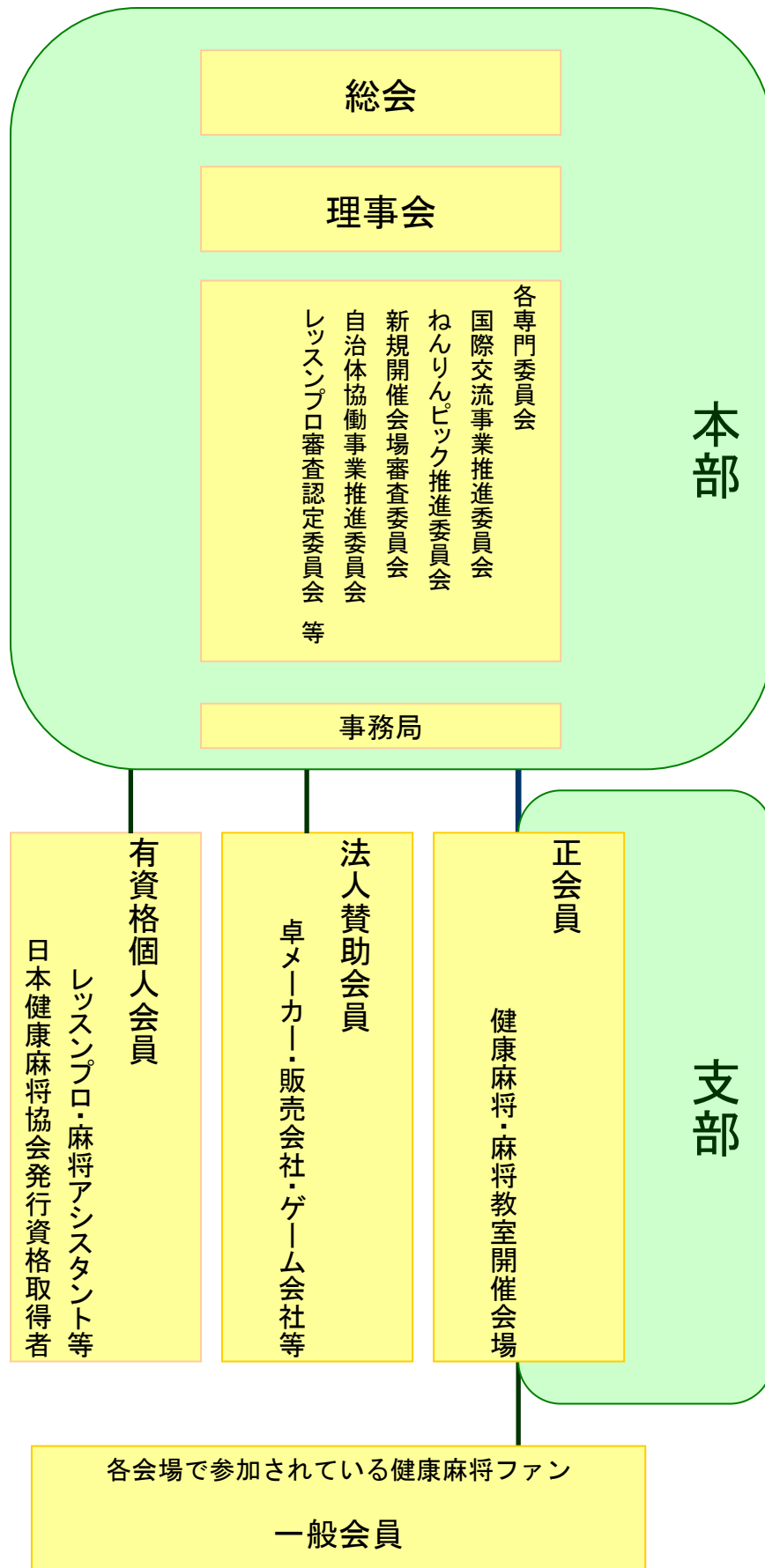


「健康マージャンが脳活動に及ぼす影響調査」報告会の資料より

3無い「(お酒を)飲まない・(お金を)賭けない・(煙草を)吸わない」から

3づくり「仲間づくり・生きがいづくり・健康づくり」へ

日本健康麻将協会の組織概要



※各会場の参加者の方々（一般会員）は日本健康麻将協会へ入会する必要はありません

日本健康麻将協会の主な事業

健康麻将普及推進事業

1. 健康麻将全国オープン戦

全国約70箇所で開催されている健康麻将で導入されている成績処理。
全国でのランキング、表彰が年間を通じてほぼ毎日開催される。

2. スクールネット

初心者教室を卒業した生徒さんを対象とした成績処理。
1ヶ月ごとに集計が行われ、賞品が送られる。

3. じゃんNET卓上競技会

1年間で4回、2・5・7・11月に開催。
各会場で同時に行う大会を全国で一括して成績処理を行う大会ネットワーク
それぞれの回で日本健康麻将協会より15万円分の賞品が提供される

国際交流事業推進

1. 日中友好健康麻将交流訪中

1995年より毎年行って来た事業。
訪中団を結成して中国各地域を訪問、
日中交流健康麻将大会を開催。
今年で16回目



第11次訪中成都での交流大会の様様

2. 国際公式ルール普及員養成講座

昨年より始まった事業。
国際公式ルールの普及を目指し、健康麻将開催会場のスタッフに向けて開催される講座。

健康麻将大会事業

● 春休み5大会イベント2011

3月26日(土) 第24回家族ふれあい麻将大会

3月26日(土) 第6回健康麻将国際公式ルール交流大会

3月27日(日) 第19回健康麻将全国大会

3月28日(月) 第9回品川区いきいき健康マージャン広場の集い

以上の4大会は品川区総合区民会館「きゅりあん」イベントホールにて開催

3月28日(月) 第5期健康麻将名人戦 KKRホテル東京にて開催

ねんりんピック推進事業

厚生労働省、開催地の地方自治体、(財)長寿社会開発センターが主催する、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典。

2007年茨城大会において当協会と全国麻雀段位審査会が競技主管団体として健康マージャンが正式種目となった。本年度の石川大会、2011年の熊本大会、2012年には再度正式種目として開催されることが決定している。



ねんりんピック茨城2007健康マージャン交流大会の様様

自治体協働事業

単に開催するだけではなく、継続して参加してもらえる教室を運営、地域の高齢者の方々の福祉に貢献している。

- ・ 杉並区介護予防課主催 認知症予防教室「健康マージャン初心者教室」
- ・ 品川区いきいき健康マージャン広場
- ・ さいたま市いきいき健康マージャン初心者教室
- ・ 千代田区社会福祉協議会主催初心者教室

※ その他千代田区社会福祉協議会主催初心者教室など公益的な教室事業を展開・推進している。

レスンプロ養成講座

本年度より改めて開催を2日に分け、異なるジャンルのレスンプロ・アシスタントの育成を目的とした講座を行う。現在開催している講座は2日間の講義の後に試験を行う形式で、講師を志望する方の背中を押してあげることを目的としている。

1. 自治体協働事業に関わるボランティアスタッフを志望する方を対象とした講座

2010年8月7日(土)8日(日)開講決定

2. ビジネスとして健康麻将の開催会場経営もしくは会場に勤務する方を対象とした講座

2011年2月開講予定



レスンプロ養成講座「対局マナー研修」の様様

支部・開催会場主催者支援

健康麻将・麻将教室を開催している支部・開催会場を支援する事業、グッズ作成を行っている。



テキスト初級



テキスト中級



ルールブック



カード麻雀教科(アガリ役編)

これ以外にも、協会クリアファイル、メモパッド、紙牌などを作成

支部制度推進と健康麻将段位発行

長年に渡って協会活動を支えてきた優良開催会場を支部として認め、自治体との協働事業や、その他の公益的事業を推進するために役立ててもらうために、また、協会をさらに組織的に進化させるために、昨年度より支部制度を導入することとなった。

段位制度は、支部のみが発行できる「健康麻将全国オープン戦」に基づいたもの。

一般の段位制度とは違い、「一日の参加人数が500名を超えることもある＜健康麻将全国オープン戦＞の上位入賞者の一般会員に、何か喜んでもらうことはできないか、また、それを通して普段協力してくれている支部に何かメリットがあることはできないか」というテーマで作られた、こちらも昨年度より始まった事業。



段位認定カードサンプル写真

(裏面には取得支部、会員番号、氏名が記されます)

健康麻将を開催する前に

現在、日本健康麻将協会ではこんな方々が健康麻将を開催あるいは開催のための準備をされています

1. 普段麻雀店を経営しているが、昼間のお客様が少なく、なんとか有効活用したい。

→ 店舗・ビジネス型 健康麻将開催会場立ち上げへ

1. 自治体が開催している健康麻将が各地にあると聞くと、自分の地域でもできないものか？

→ 自治体との非営利事業型開催のための準備へ

2. お店は持っていないけど、高齢社会の中で健康麻将というビジネスに興味を持っている

→ 地域にある専門施設(麻雀荘やカルチャーセンター)を借りての開催へ

健康麻将の開催については、事前の計画が大切です。

日本健康麻将協会では正会員に対しての情報、ノウハウ提供はできますが、正会員となる皆さんが主体となって活動をされることが前提です。

正会員として開催会場を登録する際には日本健康麻将協会「規約」(別紙)およびこの資料
15 ページにある「健康麻将、健康麻将教室開催会場並びに主催者に関する規定」を遵守していただく必要があります。

まずは計画段階の状態で、18～19ページの「新規開催会場調査書」に分かる限りの内容をご記入の上、日本健康麻将協会までご連絡下さい。

※ 事業目的、開催地域、料金その他の計画の内容によっては日本健康麻将協会の開催会場として承認できない場合がありますので、計画段階からの、お早めのご相談を強くお勧めします。

新規事業

①第1回日中選手権大会開催

中国・国家体育総局と日本健康麻将協会の共催による大会
国内にて日本側代表選手の選抜大会を開催

②東京都昭島市初心者教室

当協会と昭島市の共催事業として 32 名でスタート

③健康麻将 新成長戦略会議設置

健康麻将におけるシステム研究、改良、開発のために新たに設置

④健康麻将有段者大会開催

4月に横浜シルバーにて開催、大会は成功裏に終わり、参加者100名
のうちの三割、30名が昇段権利を獲得した

恒例事業

○国内大会事業

- 3月26日 第24回家族ふれあい麻将大会
- 3月26日 第6回健康麻将国際公式ルール交流大会
- 3月27日 第19回健康麻将全国大会
- 3月28日 第9回品川いきいき健康マージャン広場の集い
- 3月28日 第5期健康麻将名人戦

○国際交流事業

- 10月13日～18日
- 第16次日中友好健康麻将交流訪中(北京・天津)

○健康麻将普及・推進事業

①ねんりんピックにおける健康麻将の推進

10月10日・11日

ねんりんピック石川 茨城に続く2度目の正式種目として参加

②自治体との協働事業の推進

品川区・杉並区・さいたま市(支部協力事業)

習志野市・長野市・千代田区社会福祉協議会

③レッスンプロ養成講座 年2回開催

第30期 8月7日8日開催

第31期 2011年2月予定

④国際公式ルール普及事業

1. 国内大会事業

春休み大会イベントを品川区総合区民会館さゆりあんで開催

- | | | |
|-------|------------------------------|-----------|
| 3月28日 | 第23回家族ふれあい麻将大会 | 40組 80名参加 |
| 3月28日 | 第5回健康麻将国際公式ルール交流大会 | 100名参加 |
| 3月29日 | 第18回健康麻将全国大会 | 116名参加 |
| 3月30日 | 第8回品川いきいき健康マージャン広場の集い | 113名参加 |
| 3月30日 | 第4期健康麻将名人戦 | 選抜 20名で開催 |
- 神戸コクシムソウより参加の佐伯浩二さんが第4期健康麻将名人位に

2. 国際交流事業

10月31日～11月3日

第15次日中友好健康麻将訪中団

小島武夫団長とともに北京へ。

11月23日

貴州省より訪日団 15名が来日

訪中は15年にわたって行ってきたが、訪日を受けたのは初めてのこと。

日中10名ずつ参加の交流大会を開催。(優勝は渋谷ガラパゴス・鷲尾一心さん)

3. 健康麻将推進・普及事業

●ねんりんピックにおける健康マージャンの推進

10月26日 ねんりんピック札幌・北海道 2009 において

協賛イベント「第6回 いきいき健康マージャン交流大会」開催 200名が参加

●高齢者福祉関連事業の推進

新規事業

茨城県龍ケ崎市長寿会主催健康マージャン教室事業

本部は茨城県南支部と共に事業協力

既存事業

行政主催事業 品川区・杉並区・さいたま市(市内の支部が協力)・千代田区社協

後援・支援事業 長野市・世田谷区・杉並区

●講師の育成

レッスンプロ養成講座の開催

2009年8月9・10日 第28期開催

44名受講18名合格

2010年2月27・28日 第29期開催

新規開講:ビジネスとして健康麻将開催を希望されている方への講座

43名受講19名合格

※ 同時にボランティア育成も五反田ふれあい研修サロンにて実施

4. その他特別事業

●第2期国際公式ルール普及員養成講座開講(2009年9月28日～10月26日)

各開催会場で新たなメニューとして国際公式ルールを導入し、このルールの普及を通じてより多くの一般会員の方々に新たな楽しみを提供するための昨年度より始まった事業。

各開催会場のスタッフに国際公式ルールを楽しんでもらいながら、一般会員に向けての普及の第一歩とするため「国際公式ルール普及員」資格を発行。

●健康麻将段位を創設

支部制度と新たな褒賞制度としての健康麻将段位を発行。

現在支部数 40

段位発行数 のべ 421人

5. 健康麻将に関するデータ報告

健康麻将オープン戦

延べ参加者 112,444 人 (昨年 111,523 人)

スクールネット(教室対象)

延べ参加者 20,336 人 (昨年 20,396 人)

じゃんネット卓上競技会 年4回開催

延べ参加者 2,372 人 (昨年 2,543 人)

健康麻将、健康麻将教室開催会場 並びに主催者に関する規定

第1条（目的）

多様化する健康麻将並びに健康麻将教室に対応し、開催にかかわる基準を定め、公平且つ健全な開催の確保を図ることを目的とする。

第2条（本規定の適用）

本規定は健康麻将、健康麻将教室開催会場並びに主催者に適用する。

第3条（開催会場）

日本健康麻将協会(以下本会という)規約第 6 条に定める正会員が健康麻将並びに健康麻将教室を開催する会場を本会の開催会場という。

第4条（主催者）

主催者とは本会との契約当事者で、前条に定める開催会場を主催する者をいう。

第5条（開催の申請と審査）

開催を希望するときは、正会員として登録し、本会が定める調査書に必要事項を記載して本会本部に申請するものとする。

- 2 本会は申請について(会場の増設を含む)新規開催会場審査委員会で審査の上、理事会に答申し、理事会において開催会場としての承認の可否を決める。

第6条（開催会場公認認定証の交付）

前条の手続きを経て健康麻将並びに健康麻将教室開催の承認を受けた者には、本会が発行する開催会場公認認定証を交付する。

交付するか否かの判定並びに交付の時期については理事会で決める。

- 2 開催会場の主催者が本会規約第10条の定めに該当し、資格の喪失をしたとき、及び本会との契約が終了したとき、また本会を退会するときは直ちに開催会場公認認定証を返還しなければならない。

第7条（開催にかかわる費用）

主催者は、本会規約第5条3項に定めるシステムに参加し、開催にかかわる費用を負担しなければならない。

- 2 主催者がいずれのシステムに参加するかは開催の規模、開催形態を精査して理事会で決める。

第8条（教材の支給）

新規開催会場には開業初期に教材を有料または無料で支給する。

第9条（開催会場顧客の呼称）

開催会場に会場する顧客について、本会は「一般会員」と呼称する。なお規約第6条第3項に定める会員ではない。

第10条（規定の施行並びに改正）

本規定は平成19年6月12日より施行する。

日本健康麻将協会御中

新規開催会場調査書

(記入、並びに数字、イ、ロ、ハを囲んで下さい)

NO	項 目		現状、並びに具体的実態
1	本 社 (契約当事者)	所 在 地	〒
		名 称	
		代 表 者	
		電話、FAX	TEL FAX
2	開催会場	所 在 地	〒
		最寄り駅	JR線 駅下車 徒歩 分
		名 称	
		担 当 者	
		電話、FAX	TEL FAX
3	健康麻将を何で知りましたか？		1.テレビ、新聞、雑誌などで知り開催したいと思った。 2.その他
4	協会との窓口となる担当者の氏名、電話番号		氏名 電話番号
5	希望開催種別はどちらですか。		1.健康麻将 (麻雀が打てる人向けのサロン) 2.健康麻将教室(初めて麻雀を覚える方への教室)
6	開催の予定		1. 週 回 2. 曜日 3. 開催時間 ~ 4. 参加費の設定予定は1人1日 ¥
7	現在の業態は		1.マージャン店、 営業形態 a,セット専門 b,フリー(セット含む) 営業時間 時~ 時 2 介護ビジネス 3.NPO法人 3.その他(具体的に)
8	フリー及びセットの同時開催の禁止		当協会では健康麻将事業と麻雀荘でのセット、或はフリーの同日、同時刻での共催を禁止しています。これを守れますか？ 1.守れる 2.守れない
9	マージャン卓の保有		1.電動卓 卓 2.手積み 卓 3.保有なし

